

授業評価・授業研究報告

保健体育講座・藤原誠

1. 授業の基本情報・概要

本授業は学校教育実践コース(保健体育専修)の選択必修科目, また, スポーツ健康科学課程スポーツ指導者養成コース及びスポーツキャリア開発コースの選択科目である。これに加えて, 今回は総合人間形成課程生活環境コースの学生が自由選択科目として履修した。受講者数は合計 24 名である。

本授業では, スポーツの基本的特性について理解を深めるとともに, 学校や社会で展開されている多様なスポーツを社会学的視座から捉え, その実態を分析するとともに, そのあり方を考究することを目的とした。

基本的事項の理解については講義形式で授業を進め, 講義内容の領域別学習についてはグループを編成し, テーマの設定, 資料の収集・まとめ, プレゼンテーションに至るまで, グループによる学習を行った。扱った授業内容は, 「スポーツの特性と機能」, 「多様化するスポーツ」, 「スポーツと社会化」, 「学校体育・子どものスポーツ」, 「日本のスポーツ政策」, 「スポーツとメディア・経済」等である。

2. 授業評価・授業研究

授業最終日にアンケート調査を実施した。調査内容は, 授業に対する取り組み状況, 授業内容, 授業方法, 授業外学習, その他授業全般についてである。以下に結果の一部を示す。なお, 授業外学習については次項で記述する。

1) 授業に対する取り組み状況

授業の概要のところに記したように, 本授業はグループでの学習を中心としている。「グループワークの時には積極的に話し合いに参加した」, 「発表に関しては, 積極的に資料を作成し, グループの一員として協力できた」等の記述が見られた。4 人ないし 5 人でのグループワークであったが, 各グループとも課題設定からプレゼンに至るまで熱心に取り組む姿勢が見られた。

2) 授業内容

授業内容については, 「現代の子どものスポーツの問題や, スポーツとメディア・経済との関係など, 今まで知らなかったことを知ることができて面白かった」, 「スポーツについて, さまざまな視点から考えることで, 新たな発見がたくさんあった」など, スポーツの多様な側面について, 各人の興味・関心に基づき, 理解を深めることができたものと思われる。

3) 授業方法

本授業では, 教師が設定した領域の中で, 各グループがテーマを設定して学習を進めるという形式を取った。アンケートの記載には, 「班で決めたテーマを発表していく方法は良かったと感じた。テーマを自分たちで決めるにあたって, 興味のあることをまとめられるので, 楽しく取り組めることができた」, 「班のみんなと協力しての作業が多かったので, 様々な意見を聞くことができたし, 班の人々とも仲良くなれてよかったです」などがあった。授業方法については概ね肯定的に捉えられている。

3. 「授業時間外学習の促進」について

本授業では, グループテーマ設定のための資料収集やプレゼンの準備が授業外学習として必要となる。アンケートの記述には, 「主に発表に使うパワーポイントの作成や資料集めを行った。自分の課題や知らないことを明確にし, それについて調査することでいい学びになった」, 「みんなで授業外にあつまり, パワポなど作った」等があり, 自主的な取り組みがなされている。

4. まとめ

できるだけ学生が主体的に取り組む授業になるよう設計したが, 得られた知識の質という点では不満が残る。今後はいかに授業の質を保証するかが問われることになる。